

# バストス週報

第二百九号  
昭和廿九年  
四月四日  
発行

DIRECTOR  
KOITI MORI  
発行所  
RUA PRES.  
VARGAS 188  
REDATOR  
SHION ODA  
C.P. 112  
BASTOS  
電話  
一室 60  
外部 70

## バストスは

### 斯くして一丸となれる

(一) 下元健吉

去る三月二十八日コナヤ倉庫階上で  
一人下元とバストスとの為め、次  
のような話をして頂いた。色々な意  
味で得るところが多かつた。要する  
は係りが勝手につけたものである(笑)

昨日は組合の事で関係者にお話をした  
が今日一般的な話を少し申上ることに  
したい。バストスに於てコナヤ倉庫を  
設けたのは五年前であつたが、組合に  
つては不幸なことだが田中氏は今度自  
分の仕事のことと引退することとなり、  
が心配だつた。有る方の御努力で、  
さん、後任に頼ふことになつた。相中  
さんはバストスのファンである。此の方  
田中さんの後任として主任を引受け、  
さるに引いて皆さんの御協力を願ふ為  
に挨拶に考つたのである。相中さんはバ  
ストスの生みの親であるから組合  
合外のバストス人から出ふと親をコナ  
へ取られたといふふうな感がある。味  
う。と思ふ。其の点を説明し、挨拶の意  
味としたい。

これに先立つてコナヤは何故バストス  
に示和ジツトをあけたかを申上る。これ  
に引いては色々な見方考へ方もあろうが  
コナヤの本心から出たものでは無い。バ  
ストスの養蚕時代の次に養蚕が抬頭した  
のだが、養蚕をやつてゐる一部の人が、  
再三の中おがあり、コナヤとのリカソンを  
希望されたが、私はバストスにはバスト  
ス産業組合がある故、産組でやる可きだ  
といつて断つてゐた。だが、実情は養蚕家  
は既に始めてゐるので取引関係連絡を必  
要としていたのである。

一方産業組合は二十年前創立されアル  
ゴドン組合として精進途より総括した歩  
みを続けて居たが不幸にも野島に禍ひさ  
れ、満額賜山氏が斃れた。時局の混乱中  
指導者を失ひ、非常に大々敷い時代であ  
つたので養鶏に力を注ぐことも出来な  
い。事情があり、養鶏家の頼む切実であつ  
た。そこで出来ることなり何んとかいで  
上げたいといふ事になつたのである。

## Debulha de Mitho

### 三ーリヨ 脱穀のご用でしたら

- 。 當店に御用命下さい
- 。 仕上おがきれいで仕事が早い
- 。 かつは御入用だけ御用立てします
- 。 どのへでも運搬いたします

Rua Pres. Prudente No. 375  
(Frente de Rodoviania)

。 平 井 俊 雄  
。 山 内 武 彦

Alfatario  
Imperial



スマートなスタイルは  
マルヤマ洋服店で

はじめの教名を個人的人的取扱ひであつたが  
せんなことではいかん、是非示和ジツト  
を出してその熱意に動かされて、示和ジツ  
トを出すとことになつたのである。其後  
ラヤの示和ジツトの成績はうまうま行つて  
る。コナヤと相前後してバストス産組も養  
蚕に力を入れたのは、戦前一丸であ  
つたこのバストス組合の外に、よそから  
つても五つも出かけて来てお互ひにシノギ  
をけがる情態となつたことは、まことに  
見栄えの悪いことだ。よいと思はれぬ  
バストスにはあく迄一丸となる可きだ  
と思ふ。立場に於て、反対の地位に居る  
実の立場に於て、反対の地位に居る文の  
とだ。それ故、田中さんの代りにバスト  
スの生みの親たる田中さんが、何れに  
に引いてはコナヤとの関係は問題ではな  
い。外部から見ては、田中さんにも、  
九となるように、田中さんにも、  
は、田中さんにも、  
一丸化する手探りによる。将来打つて一丸  
一丸化する手探りによる。将来打つて一丸  
一丸化する手探りによる。将来打つて一丸

も其の氣持ちを得へぬはならぬと機会を待って居た次第である。

コチや倉庫をどうもつて中かぬはならぬといふ問題を宿題として提供したい。どうか其の点よりしく皆さんの考慮に入

れておいて頂きたい。次に私がコチや産組を設立した当時の事を述べると、二十七年前の事で専務を引受けて爾来今日に及んで居る。當時は法令もなく産業組合だか株式会社だか判らんような名前を出された。八十三名

皆ハタタ作りのみで組織した。その頃各々のハタタを販売するのには牛車に積んで一人芝のつぎ添ひ市場へ出て朝の内に販

引したものが、取引が複雑で営業もよく判らん商人にも悪い奴があつて、いふやうに値段を叩かれた。かゝる情態を打破する

為めに組合を作る動機が生じたのだが。協同販売をやる人々、組織を通じてやるんだ。依つては見たが、とて作つて見ると

どう簡単にかない。理事になつて見たところでも何も商才があるわけはない。組織を動かす経験もなく、智能もない。それ

れが各方面に突破を生じた。三年四年といふものは実に生死の回と彷徨した。不平不満の声が遂に遂に解散といふ瀬戸際まで行った。

しかし、そんなことは出来ないと、有志の者たちは折角今迄努力したのだから、今更潰すこと出来ない。つづけたら商人たち

からワイエス町が理事になる。考へ直せと皆をなだめ、もう少し、もう一年、もう二年と努力に努力を重ね、難関を切り抜けて

来たが、追々バタタの販売は有利に向つて来た。その頃ヒネロス市場はバタタの取引所であつたが、此度は各方面でバ

タタ作りをするようになり、コチやの専攻はなくなつて来た。ヒネロスの外に、連

々販売の競争をするようになった。私は競争の起らぬことを望んだが、どういふわけにいかず、値段の維持にすら破れたの

で、バタタ生産者はお互の利益を擁護する為めに組合に加入するに努力した。積

極的に一手販売式にする必要を、手をひらけ奥の口と逆手をのほしたのである。や

す売りをさせない為めには組織を拡大しなければならなかつた。此の事はひとりでバタタのみならず、トマ



製造元 東京 わかもと製薬株式会社  
伯國総代理店 聖キハカリ製薬会社  
社長 中久保益太郎  
C.P 3656 TELPH 32-4445  
São Paulo

上戸十<sup>プラス</sup>酒<sup>ハラス</sup>のみにすぎ  
呑み過ぎに

わかぜと

いくつお酒 たつよくと、二日酔  
連日の呑み過ぎには胃腸は痛められます  
「わかぜと」で元氣になりましょう

バストスの方は左記で  
お求め下さい

板西佐  
垣川木  
薬薬局  
局局局

赤字々々でとうとう百コントを突發して

か、はしかりんと言ひ出し、この専任として

おけばコチマの命とりになる。解散せよ

と云つた。しかし私は聖市郊外農は漸次

バタタが減り野菜が増えて多角的になる

バタタ専業はなくなるかと信じ自説を曲げ

なかつた。バタタ派は三年目の赤字百二

議以上になつても下元が擴張するならば  
議を以て蔬菜部を閉鎖せよといふ  
總會で決議せんとしたので、私は先手を  
打つて、私は理事をやめる。私の辞任を認  
めてもらひ度いと云つた。遂に不牙組  
も折れてしまつた。セスキアを便して成  
功したわけである。その様にムリヤ  
リ野菜倉庫を維持した。次年度から分量  
もふえて赤字となり、今日では充分な事業  
分量として産量をなすに至つたのである。  
その頃トマを売るに、一トマ一トマとい  
ふ時代は、一トマ五五、運賃が一トマ五五、中  
味はたつた二軒といふふうな事があり、畑  
でくさつてしまつたものがあるが、ト  
マの販売を有利にするには、打つて一丸  
とならねばならぬ。と勸業部の主張によ  
り郊外組合たる。モジヤケリ、イタケケの  
三組合は連合組織で協同販売をやる。コ  
チマの倉庫を開放する決議をして、その線  
を違ふことになつたが、不幸にして中途あ  
つたのが起り、出荷されないのでした。

まことに見苦しい事であった。組合とは一体何の目的の爲めにあるのか。組合を維持することか又は組合を作ること、それ自体が目的か。組合は農業者の生産物を有利に販売する一つの手段であつて農民の利益を擁護する目的に及ぶることは手段と見る可き筈でない。だが実際問題となるとどうか？、いかなる組合でも物を有利に販売しなければならぬ目的にちがいはないが、それが市場で安売りの競争をするようでは組合としての価値は無いではないか、組合の目的を外れてくるのであるが、どう思はれるか。トマテの値を維持する爲め四つの組合が一つに結束し、とうとして未実行出来なかつたことは、誠に遺憾であつた。現実の立場は中マス教しいものである。

(一時半より始り、二二迄、二十分考) 以下次号

有権者の皆さん  
登録を忘れないように

みなさん、あなた方はフジ生れです。から男女とも、選挙権(ポツタする事)があります。しかし満十八歳になつた人は登録しない資格がありません。本年八月月迄に満十八歳になる人、その他何れでも改めて皆レジストロにしなければなりません。ナツシメントを持ってP.S.P事務所(バスストス商業事務所の下隣)へ申いで下さい。佐伯時武さんが居て親切に取扱つてくれます。お金はいりません。本年は本市長選挙の外州統領などの選挙もあるのは是非皆さんはしつつかと選挙権をもつように準備しなければなりません。それが公民としてのオブリガツションでもあります。父兄の方よ、とうを子供さんたちへ注意して上げて下さい。

バスストス 短歌會報

三月十四日第四十四例会を池田ホテルで開く。成績尤の如し  
高次歌(四首)  
次々あえぐ壓力鍋の湯氣に乗り  
新米の匂い厨にひろる (渡部 子三)

宿題のすまぬ吾子等とひをけく序  
机上の薔薇の灰かに匂ふ夜 (重道 千代子)  
次点歌 (三首)  
長雨のからりと今宵霽れなり 山本 秋 扇  
秋めく風下さわや早の葉  
歌会に行かんと早朝歌す吾子に 田中 霜 月  
ペニシリン一本射して去ぐる

祭典の寄附を集めて休日  
役員の方は汗にあえき  
診断の結果をおくる、我をおさ、森重枝美  
白衣の少女は、扉を閉ざす  
二点歌  
夕風の寂けさ、棉に噴霧する 三枚はら  
白き煙りゆるき、深し  
鶏頭のみにくさまでに色のあせ 池田夜詩緒  
黒色の笑は秋風にこぼる、  
西寄りに大陸行き行きて盡くす 小松修水  
大河を渡る夕陽國境をなす  
一点歌  
舞の入りしこくき、ゆるる教金の  
鍵に以前の餘韻のありあ  
数多きレコードの中の三枚の  
較ある樂に眼を閉じて聞く  
真神鳴年  
石橋奇峯  
別けたる今日の街賑るかに

席題 (残暑)  
かりそめのいたつさいまた癒えずして 五点歌  
残る暑さといへどさびしく 修水  
歌友らの既に集へる時刻かと 五点歌  
残暑さびしき道急ぎ来ぬ 技美  
鈴鳴らす馬先頭に一群の 四点歌  
馬道り過ぐる残暑の断を 千工

移転 御挨拶

二十数年カスカツ夕區に在住いたし  
皆様からは別懇に御交際頂きました  
が、今回長男、國雄の居りますサン  
ニゲール(聖市よりホモロの地点)  
へ転居することになりました。  
長年住み馴れた御当地を去るに忍び  
ず、荏苒として日を送りましたが、愈  
々本日出發いたします。  
どうぞ皆様も御一家御健康に御暮し  
道はさる、標祈り上げます。  
出發に際し御饗別頂き深謝致します。  
失礼なり紙上を以て御別此の御挨拶  
申上ります。  
一九五四年三月三十日

各位様

辻 新作

当地方に御旅行の節は、おし御立寄り  
下さり、住所は左記の通りです。  
São Miguel Paulista (サンミゲル)  
Bom Seso Agua Chata  
(C. Postal 4 São Miguel)  
E. F. C. B

アリアンサ 移住地視察記

(二) 高橋 久雄

子エテ移住地と云ふ

其の晩は子エテ産組最高幹部總出動の  
 座談会が開かれ、理事長自ら訓諭の一番  
 を述べて吾々一同大きな収穫を得ました  
 理事長の訓諭は力強い体積で働かされ  
 は何事もなし付ホと農業の偉大性と将来  
 への覚悟について警告を与へた。  
 本団团长はおもむろに立つてバストス  
 の現状に批判のメスを加へ、深く強く抉  
 って悲憤の熱涙溢れ、人々としてうた  
 感動としめ、子エテ幹部の心腹に迫つ  
 た熱誠に列席した視察団員たちも、おのづ  
 かり興奮禁じ得ず面目をほどこした。あ  
 り、泉雄本団よと、心中之れ程有難い事はな  
 かつた。

三月十七日(第三日) 曉醒めぬ子エテ  
 の霧に旅愁淡く、はや暗いうちから起さ  
 出てヤア、と挨拶を交して、今度  
 の旅行程好運続きは珍らしく、風も急ぐ  
 雨にも會はず、寒さ知らず、風邪や腰痛  
 を訴へる者もなく、全員毎日元氣一押、  
 和氣藹々四つの組合員ではあるが胸襟を  
 開いて語り合ひ、团长本団君の統率よろ  
 しきを心得て十二分の視察を予定通り了  
 したことを喜んで。

晴い内からアルゴドン採集機就働見察  
 北米製マツクコイルミツク、價格三百  
 七十コントス、一時間採集能力百アロバ  
 微りに十時間就働すれば一アロバを  
 一日で収穫することができる、之れ又の  
 能力を發揮すれば機械代金などお茶の子  
 さい、と、さといわれ、こゝは賑の玉と  
 キヨク。

此処を早を引上げて車上の人となる。  
 皆奮然とほころはせいで、今日の旅程  
 の希望に胸をふくらませている為めと思  
 ける。一時半、風土を賞する間も、早くイ  
 タカ、一ウの所に着く、午前十時四十五分  
 そこで思はず快哉を叫ぶ事件があつた。  
 未知の土地に遺跡を尋ね、土産もほしいが  
 と案じていた折柄、元バストスに五年も住  
 んでいたカ、ホ(州警兵)ベネジツトに出  
 會ひ、彼を伴ふ事が出来たことだつた。彼  
 をつれてゆけば中も利く、無理がさく、知ら  
 ぬ世間で之れは又とない好運であつた。  
 早速子エテ河のイタカ、ラ、瀧見物とし  
 ゃれた。この壮大な自然美を見ると、か  
 として居られぬ程の感に打たれる、快  
 哉と叫ぶ者、嘆息を發する者、心ゆく迄  
 眺め入り、去り難き思ひをここのこ  
 ドンペード、II帝のバラク、アイ、攻界の跡

も、イクレ、ジアであつたレンが建の跡  
 レンガの特別大型であるのも一驚に値す  
 る。打込人ど釘の異形ものも珍らしく、  
 十、十年前の要塞建築も、あわれ見ると  
 く荒る、に委せてある。室内の調度など  
 心なき佳筆の持ちまうて、失はれゆくとは  
 惜しみて、余れあることだ。  
 砲台跡、墓地跡などを見、居城たりし  
 ニ階建の荒城い、寂び、旅情をなぐさめ  
 るばかりでなく、見のがせぬ足跡揃ひで  
 あつた。全員記念撮影を、次に進む。  
 コット、全員記念撮影を、次に進む。  
 ニヨト到着したのが午後一時、眼下に流  
 る、バラナ河本流をバルサで越して中の  
 島イリ、ア、ラン、チに上陸、面積二十アル  
 ケール、を中斷して突撃に到る。カルトウ  
 ルカ、ソ、ン、が今日の旅程の最終地点です。  
 午後二時、子エテ河との合流点に、上  
 流に見え、壮大な島の島で、三又となり、各々  
 龍となるあたり、飛瀑天に沖し、元の大  
 マに、只々、漠然と驚くばかりである。瀧の  
 全長四百七、百、末、毛、夕、ホ、ト、で、麻、州、に  
 後、高、台、から、瀧、を見、お、ろ、す、杜、観、又、何、を、か  
 言、は、ん、や、あ、る。  
 カ、イ、ホ、の、御、か、け、で、至、難、と、さ、は、れ、る、生、魚  
 持、大、物、も、沢、山、土、産、に、さ、る、こ、の、よ、未、だ、の  
 も、う、れ、し、か、つ、た。帰、路、は、パ、ウ、リ、ス、タ、奥、地  
 線、を、一、さ、ん、走、り、に、夜、通、し、帰、路、に、て、三、月、十  
 八、日、午、前、八、時、十、分、叔、郎、バ、ス、ト、ス、に、帰、着、  
 十、時、帳、一、さ、一、行、解、散、し、て、帰、路、に、つ、いた、  
 (五頁上段につづく)

ユーカーリ視察団員を

募 集 します

五月一日午後九時、(母合前集合)

集合同所、アラ招製系工場前

目的地、リオクラ、ロ、...

カンピ、リ、ナ、ス、東、山、農、場

日数、(五日、四泊の旅)

汽車賃、リ、オ、ラ、口、往、復、一、等、見、察、代、金、  
 小、遣、宿、泊、賃、四、五、百、針、見、察、入、用

団長、谷、口、章、氏

申込所、バストス産業組合内、藤川道

主催、バストスユーカーリ植林

期成、聯盟

後援、アラ、タ、ク

各位御承知の如く、愈々来年から自家の土地  
 へ植林をしなければなりません(週報二、八号  
 参照)植林には何がよいか、バストスの土地に付  
 コーカ、リ、ト、が、適、当、で、す、一、つ、本、場、の、ユ、カ、リ、を  
 見、学、に、参、り、ま、せ、う。青、年、諸、君、ク、ン、パ、ン、せ、ら、れ、よ、





# CIA BRASILEIRA DE IMIGRAÇÃO E COLONIZAÇÃO S/A

COBBRIMCO

拓植會社の賣出し地

マリンガに次ぐ大市街となる

サンタクルース・ド・モンテカステロ

市街地

豊饒・肥沃・パラナ一の称ある

イカライマ植民地

(裏面の地図をじっくり下さい)

北パラナ・サンタフルース・ド・モンテ・カステロ市街地は聖州に隣り、リオ・パ  
ラナへ三〇キロ、麻州ドラードスの對岸です。同地方は最も豊沃な地帯で氣候  
溫和、頗る健康地で、水量驚くばかり豊富です。

既に、六イス・ミリヨンの珈琲があり、小地主多く健全な地盤を築き、州經濟  
の將來を擔ふ程の發展ぶりです。

○交通、パラナイより八十五キロ、完全な州道で連絡されて居ります。  
市内施設物、大レンガ工場、三製材所、三精米所、  
三カボリンボスト、完全なホテル、  
オニクス榮着所、齒科匠、各商店、学校、教会……等  
近き將來、フラジレイロ、ネスコント銀行も開設されんとて居ります

○イカライマ植民地

リオイバイの左岸、モンテ・カステロより三十キロの地点

一万五千域の「イカライマ」を賣り出し中です

絶材、霜害の憂なし。地質一城入コト長期拂込の便法あり

五、十五、二〇アルケルと小分譲を始めて居ります

是非一度視察して、將來の爲めに備えて下さい

聖州總代理人

ニルトン・メネーゼス

ロメイロ・ジラスシオ

エドワルド・サバク

バストス地方代理人

阿部次郎

郵函バストス 二六

フラジレイロ・ネスコント銀行頭取及重役  
がコボリンボ植民地の重役です。  
アマドール・アキアル氏  
ドトル・ジヨセ・ネクニヤ・ジュニオール氏  
カルジノ・アルフレッド・ネアルメイダ  
ジュニオール氏  
セカール・ネアルメイダ氏  
ルイス・シルベイク氏  
ラウド・ナテール氏  
バジリオ・トランコガ・ネイリヨ氏  
レオナルド・カクレヤ・ジュニオール氏  
ピセンテ・ネリシオ・ネリモ氏  
アントニオ・カンチホニ氏  
ラウル・パツサレイリ氏  
……信用ある資本家のみ……

